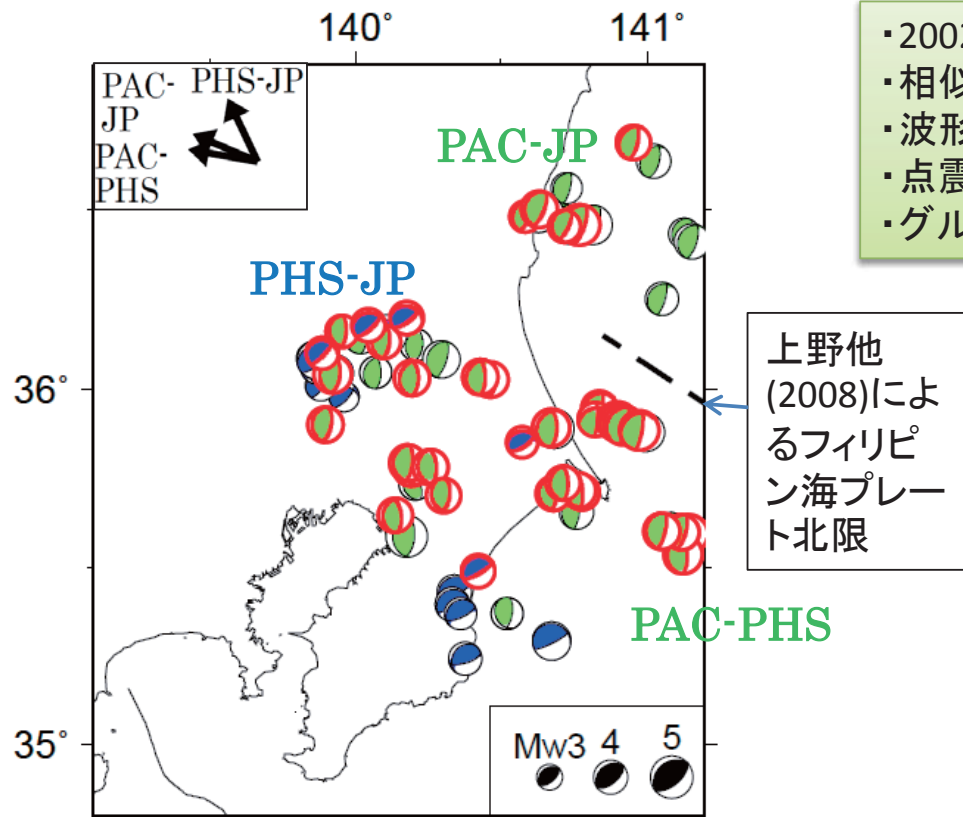


相似地震発震機構解

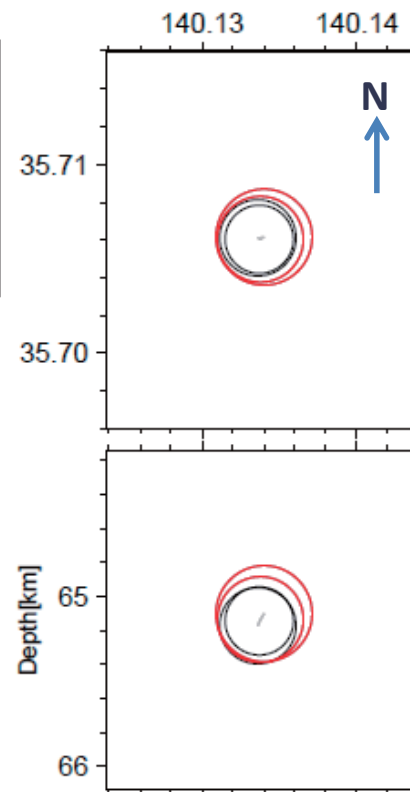


防災科研 AQUAによる相似地震の発震機構解. 赤縁シンボルは東北地方太平洋沖地震後に発生した相似地震を示す.

- ・相似地震の発震機構解はプレート境界のすべりと調和的な低角逆断層型.
- ・東北地方太平洋沖地震後も同様

DD法による詳細分布

- ・2002年9月以降を対象
- ・相似地震グループ毎に再決定
- ・波形相関データを使用
- ・点震源からスタート
- ・グループ内のすべての地震との波形相関を計算



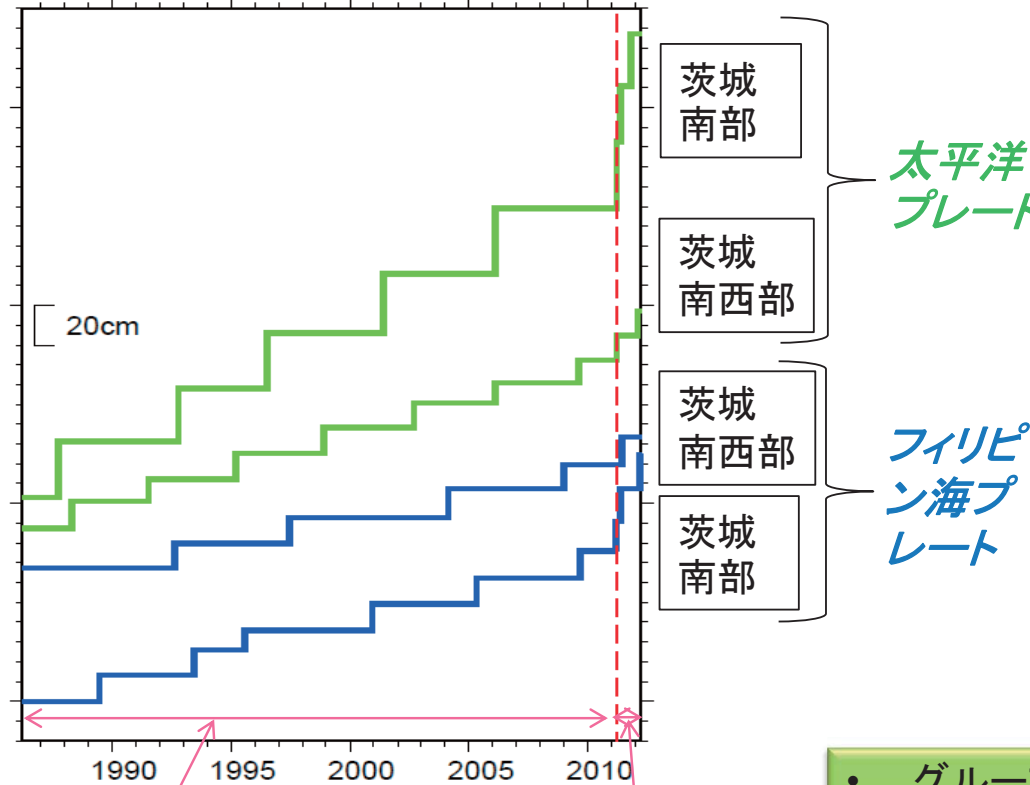
- ・ほぼすべて (94%)の相似地震は断層サイズ内に分布.
- ・東北地方太平洋沖地震後も同様.
- ・同一のパッチにおける破壊の繰り返し

丸印: 相似地震. 赤丸は東北地方太平洋沖地震後に発生した地震を示す.

相似地震 繰り返し間隔の変化

グループ毎のすべり履歴

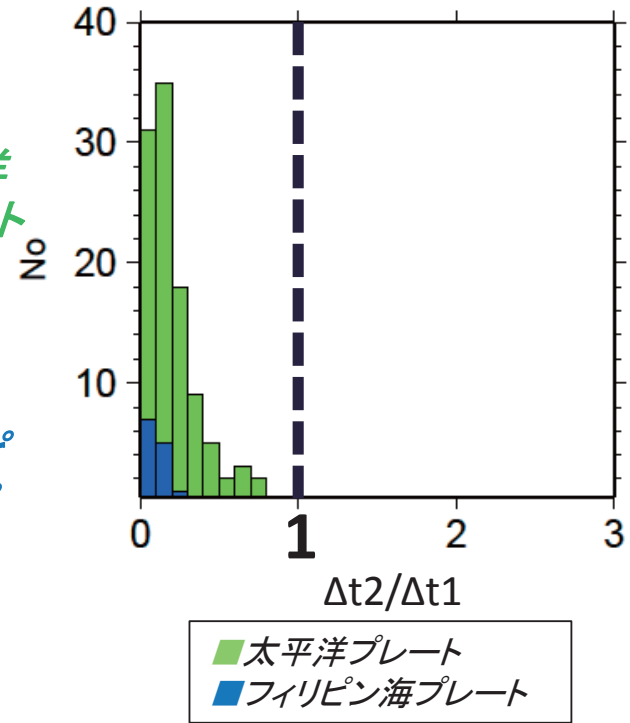
東北地方太平洋沖地震 ↓



東北地方太平洋沖地震前の繰り返し間隔の平均: Δt_1

地震後の繰り返し間隔の平均: Δt_2

グループ毎繰り返し間隔変化率の頻度分布



- グループ毎の繰り返し間隔の変化を確認
- $\Delta t_2/\Delta t_1$ が1より小さいグループが存在:
繰り返し間隔が短くなった
- 太平洋プレート・フィリピン海プレートとも同様の傾向